

とほろ市議会だより

発行 鳥羽市議会 平成23年4月16日

明日へ！
国崎小学校 最後の卒業式

- 目次
- ◆第1回 定例会（3月3日～3月24日）
 - ◆予算特別委員会…2
 - ◆各常任委員会…3
 - ◆審議した案件と結果…5
 - ◆一般質問…5～8
 - ◆追跡！あの意見どうなったん？…8～10
 - ◆編集後記・クイズ当選発表他…10

※今号より、経費節減のため、紙質を「再生上質紙」に変更しました。みなさまのご理解をお願いします。

「3月議会報告」

平成23年度一般・各特別会計及び水道事業会計の予算ほか、暴力団排除条例の制定、国土利用計画の改定など32議案を審議しました。議会最終日に、3月11日に発災した東日本大震災への市見舞金など、関連補正予算議案が上程され可決されました。



市議会では、USTREAM（ユーストリーム）による市議会インターネット放送を実施しています。また5月からは議会運営委員会、特別委員会、全員協議会も放送する予定です。視聴方法等については市議会ホームページをご覧ください。

市議会ホームページ

<http://www.city.toba.mie.jp/shisei/shigikai/index.html>

USTREAM

予算特別委員会「みんなのお金、今年はこんな事業に使います」

平成23年度当初予算を可決しました。一般会計予算は108億4000万円で、前年度比3.1%増となりました。昨年急減した市税はわずか1700万円の回復にすぎず、自主財源の根幹をなす市税の確保が依然として課題です。一方、国の地方交付税や県支出金などにより、3億2100万円増の予算となりました。

主な新規事業は—

- とばの定住応援事業 1100万円
- 獣害対策用緩衝帯整備事業 790万円
- 環境林整備・森林環境整備事業 1532万円
- 水産物高付加価値化事業 238万円
- 鳥羽城石垣調査事業 840万円
- 最終処分場雨水対策追加調査・実施設計 1401万円
- 小中学生の定期船通学費全額補助 2041万円
- 障害者生活介護施設整備 9936万円
- 高規格救急自動車購入費 3541万円
- 消防団格納庫新設工事 3432万円

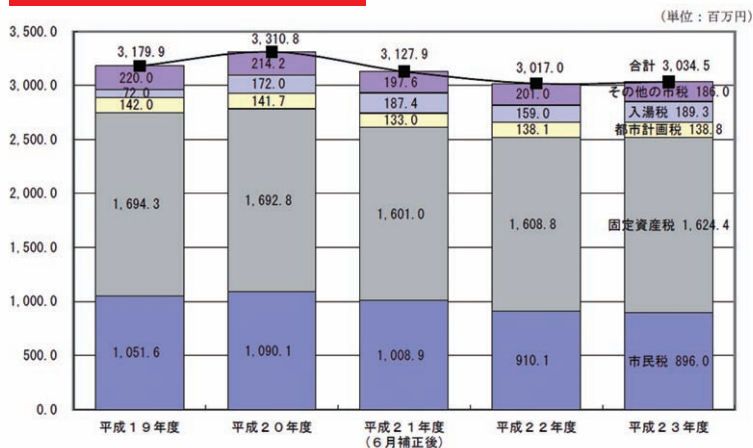
～ 全会計当初予算の規模 ～

～ 全会計当初予算の規模 ～

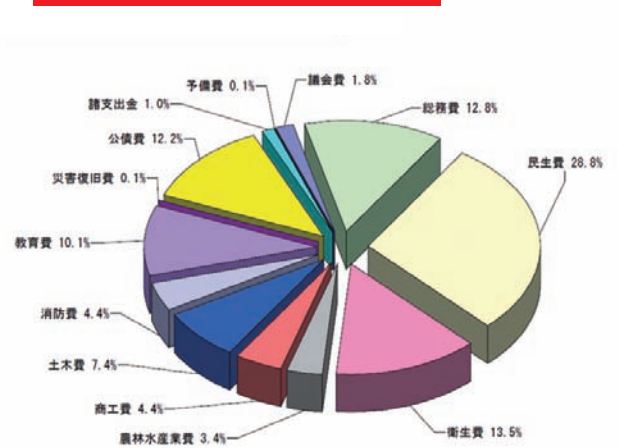
(単位：千円・％)

		平成23年度	平成22年度	前年度 増減額	比較 伸率
一 般 会 計		10,840,000	10,519,000	321,000	3.1
特 別 会 計	国民健康保険事業	3,187,300	3,211,500	△ 24,200	△ 0.8
	介護保険事業	2,179,500	1,964,000	215,500	11.0
	定期航路事業	570,000	545,600	24,400	4.5
	特定環境保全公共下水道事業	156,000	157,800	△ 1,800	△ 1.1
	福祉資金貸付事業	廃止	1,350	皆減	－
	住宅新築資金等貸付事業	380	400	△ 20	△ 5.0
	老人保健医療	廃止	3,000	皆減	－
	後期高齢者医療	427,000	432,800	△ 5,800	△ 1.3
	小 計	6,520,180	6,316,450	203,730	3.2
企 業 計	水道事業	1,592,130	1,537,230	54,900	3.6
合 計		18,952,310	18,372,680	579,630	3.2

～ 市税収入当初予算額の推移 ～



～ 一般会計目的別歳出予算の構成 ～



予算特別委員意見

議長を除く全議員で予算特別委員会を構成し、4日間の審査をしました。
委員の総括意見の一部を紹介します。

- 地域雇用創出事業の条件が厳しいのではないかな。
- 森と海のきずな事業を進めてほしい。
- 市民サービスが低下しないように、公平なサービスをお願いしたい。
- 震災が何らかの形で本市にも影響すると思うので、国の動向を注視してほしい。
- 効率の高い行政経営が目みて分かるような予算執行をお願いしたい。
- 国の法案の遅れで、関連予算の執行が遅れることのないよう注意願いたい。
- 法人税が延びるように努力してもらうことと、国民健康保険税の原資をどこから持ってくるのかを考えてほしい。
- 予算特別委員会のチェック力がアップしてきたと感じた。
- 前年予算対比ではなく、前年実績対比で報告するように。
- 今回の予算が定住化対策も含めて、議員16年間で一番良かった。
- 保育所や道路関係の事業をもっと進めてほしい。
- 今後、予算の積算根拠をしっかりと説明できるように。
- 震災により経済が落ち込み、国からの交付金や補助金がかットされることもあると思うので注意するように。
- 追加資料がないよう、当初予算説明資料をもっと拡充するように。

補正予算の主なものは一

東日本大震災関連の
補正予算を中心にお知らせします。

- | | |
|-----------------|--------|
| ● 東日本大震災見舞金 | 200万円 |
| ● 緊急消防援助隊派遣経費 | 216万円 |
| ● 被災地への職員派遣経費 | 171万円 |
| ● 物的支援による備蓄品等補充 | 1736万円 |

常任委員会報告

各常任委員会に16議案が付託されました

総務民生委員会

審査の主な内容は、
次のとおりです。

(議案第12号 鳥羽市暴力団排除条例について)

問 現状として、市内で暴力団の動きが見られるのか。

答 市内には、暴力団事務所はなく暴力団員はいないが、以前に他の市にある暴力団事務所に所属する、市内出身の暴力団員による事件は起こっている。

問 現状として、苦情はあるのか。

答 現在、苦情はこちらには入っていない。

(議案第18号 鳥羽市診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正について)

問 診療科目を削るということだが、なぜ、今このような改正なのか。

答 診療所が標榜する診療科目のうち、婦人科及び耳鼻いんこう科については、診療数が少ないため、主たる診療科目から削るようにとの指導が保健所からあった。

問 診療科目から除くと、受診していた市民が受診できなくなるのではないかな。

答 条例改正後でも、今までどおり受診できるとともに薬も出してもらうことができる。



鏡浦診療所

総務民生委員会

(議案第20号 国土利用
計画の改定について)

問 東日本大震災が起こった。この計画の中に、避難所やオープンスペースの確保、安全・安心な土地利用の推進とあるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 この計画は、総合計画など個別計画との整合性を図りながら、10年後の土地がどうなっているのかを示していくもので、具体的な取り組みについては、個別計画のなかで議論をしていく。

さらに委員から、道路の整備についても、防災対策面を加える検討をしてもらいたいとの意見がありました。

文教産業委員会

審査の主な内容は、
次のとおりです。

(議案第19号 鳥羽市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について)

問 市内の公民館を分館化する理由は何か。

答 分館化により館長を置く必要がなくなり、管理運営が効率化される。

問 分館化にあたり、本来の公民館活動は維持できるのか。

答 生涯学習の公開講座を今後地区へ出向いて行くことも検討したい。

(議案第22号 平成22年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号)繰越明許費補正)

問 臨港道路の整備を繰越すとのことだが、工事完了予定はいつなのか。

答 1号、2号臨港道路については3月25日に完了する。また、右折レーン設置工事については今年度中に現場は完成するが、書類整理に日数を要するため繰越しを予定している。

問 開港は4月1日であるのに工程管理が甘すぎるのではないか。定期船も新港で供用を開始するが、今の状況で安全は確保されるのか。

答 国の緊急経済対策のスケジュールにより、工期日数が十分取れないことがあるのでご理解願いたい。また、現場の安全確保については指導する。

委員会からは「国の緊急経済対策による交付金のスケジュールの都合は理解できるものの、安易な繰越明許は認められるものではなく、早急に事業を実施して経済効果が実感できるものにしていただきたい。そのためにも臨時市議会を速やかに招集することも今後は十分考慮していただきたい」と意見しました。

委員会終了後、臨港道路を現地視察しました。



臨港道路工事現場を視察



平成23年度第1回定例会 議員別表決結果

○：賛成 ×：反対 ー：欠席もしくは破棄

議案番号	議案名	議決日	審議結果	松井一弥	木下篤一	浜口一利	坂倉広子	木下順一	橋本英一郎	坂倉紀男	野村保夫	竹内久	尾崎幹	山本泰秋	村山俊幸	戸上幸子	木村幸夫	寺本春夫
議案第4号	平成23年度鳥羽市一般会計予算	3月24日	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成23年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○
議案第6号	平成23年度鳥羽市介護保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成23年度鳥羽市定期航路事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成23年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成23年度鳥羽市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○
議案第10号	平成23年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○
議案第11号	平成23年度鳥羽市水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	鳥羽市風力団排除条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	鳥羽市福祉資金貸付事業特別会計条例の廃止について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	鳥羽市議員の育児休業等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
議案第16号	鳥羽市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
議案第17号	鳥羽市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×
議案第18号	鳥羽市診療所の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	鳥羽市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○	○	○	○	○
議案第20号	鳥羽市国土利用計画の改定について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	平成22年度鳥羽市一般会計補正予算(第6号)		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	平成22年度鳥羽市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成22年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	平成22年度鳥羽市福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成22年度鳥羽市老人保健医療特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成22年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成22年度鳥羽市一般会計補正予算(第7号)		可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	鳥羽市議会議員定数条例の一部改正について	3月9日	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	鳥羽市議会議員政治倫理条例の制定について	3月24日	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	鳥羽市議会政務調査費の交付に関する条例の全部改正について	3月24日	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	鳥羽市議会委員会条例の一部改正について	3月24日	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

これが問いたい
ここが聞きたい

第1回定例会 一般質問

3月8日～9日に6人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

高齢者を励ます外出支援を

市長 考えてはいます。参考にしたい

戸上幸子



地産地消条例の制定を

市長 地産地消は大事。議論したい

地産地消への市民の期待と機運が高まっています。新潟県佐渡市では市調査で市内生産物が市内で10%台しか消費されないと判明し条例を制定しました。「地産地消推進計画」をつくり、地元産流通量や学校給食での使用率の拡大数値目標を定め推進中。本市も条例を制定すべきときでは。

市長 考えてはいます。今後、議員のご意見も参考にしたい。

※ 他に、「TPP問題」「国保医療費抑制提案」の質問をしました。

高齢者に共通の願いは外出支援です。足の便の確保と交通費支援です。姫路市の定期航路優待券や伊勢市の寿パスの例もあります。市内の病院通いや買い物気軽になりまちなちも活気づきます。仮に伊勢市のように鳥羽市の75歳以上高齢者に一人4000円の外出支援を実施した場合、予算はどれほど必要ですか。

健康福祉課長 対象は3497人で、ざっと1398万円です。

伊勢市の実際の交付率は55%です。同程度なら760万円です。高齢者に定期船・バス優待乗車券を交付し、そのお元気な活動を支援してはどうですか。



高齢者の外出支援を

連絡所を協働の拠点に

行政改革室長 推進の人材、環境から整えたい



新築された桃取連絡所

行政改革室長 「市民参加と協働のまちづくり推進」の実現に向けて、活動者が情報と出会い、まちづくりについて語り合う場、立ち上げる場として考えています。

市民活動団体が利用して情報交換、情報共有ができる拠点として「市民活動センター」設置の検討をとありますが、その点についてききます。

浜口 一利



環境や人的配置が整ってこそ市民移動の拠点となりうると考えていますので、当面は地域担当職員、地域支援員のあり方を検討しながら地域の活動を広げていきます。

行政改革室長 まちづくりの拠点としては、活動する方々が集まる場の提供、情報を収集、共有し広く発信していく環境が必要であり、協働を推進していく人材を考えています。このような施設、

公共サービス拠点として連絡所の見直しを行なうとしていますが、現行の嘱託職員一人体制で、市役所事務を分掌する役割は果たしています。「市民と力を合わせたまちづくりを進めるために」の基本方針では、地域の拠点としての位置付けも必要では。

火葬場の環境整備を

市長 納得していただける施設にしたい



堅神町にある火葬場

環境課長 堅神火葬場は昭和62年の建設から24年経過し、平成13年度に火葬炉の整備とバーナーを取り替え、待合室トイレを設置しました。平成16年度には再燃炉バーナーの取替え、平成21年度には空調設備を取り替えました。神島火葬場は昭和53年建築で33年が経過し、平成13年度以降、灯油汲上ポンプの修理、燃料設備修理等を行いました。

寺本 春夫



市火葬場（堅神町・神島町）の老朽化に伴い、諸問題が発生しています。が、施設の経過年数及び改修履歴は。

市長 堅神の火葬場は市民の皆さんに納得していただける綺麗な安心して使える施設にしていきたい。神島火葬場は、地元からも改修の要望がありますが、利用件数を考えると新しい火葬場を造るべきか、波風の激しい時はどうかなど、どういう方向で行うかしっかり検討したい。

鳥羽市にすんで良かった、鳥羽市で最期を迎えて良かったと誰しもが思える火葬場の整備が必要だと思っています。前向きな答弁をきかせてください。

環境課長 堅神火葬場への案内看板が分りにくい、トイレがバリアフリーになっていない、空調の能力が弱いなどの意見を頂いています。

利用者の意見など市民の声をききましたか。

伊勢湾フェリーの利用促進策は

市長 色々な手立てを真剣に考えたい



再出発した「伊勢湾フェリー」

昨年、8月20日に鳥羽・伊良湖航路の存続が決定され、10月1日に「伊勢湾フェリー」は新体制で航路運行の再スタートをしました。特に鳥羽市にとっては、①観光振興策を図っていく上でも、②

山本 泰秋



の航路を今後どのように10年、20年、30年と維持・存続させていけるか、抜本的な「利用促進策」を突きつけられたということではないでしょうか。そこで、浜松から鳥羽までの高速道路料金の倍の料金のかかる「フェリー料金」が大きなネックになっているとし、次のような提案をしました。3年間の地域公共交通連携計画の中で、「利用料金の半額割引」を行い、3年後の利用客数の現在の目標数、年間35万人を年間70万人に置き換えての抜本的な利用促進策を図るべきだと考えます。

副市長 「半額割引」は大きなリスクを背負うことになり難しい。

市長 連携計画での利用促進策の中で、私達もいろいろな手立てを真剣に考えていきたい。

支え合う地域社会を

健康福祉課長 地域包括ケアシステムに取り組む

坂倉 広子



昨年の夏、大きな社会問題となった地域から孤立する高齢者が増える中で、高齢者を支えるネットワークづくり、在宅で安心して暮らせる仕組みづくり、希望なき無縁社会に一人一人の安全のために、高齢者や弱い立場の人を孤立させない支え合う地域社会を構築し、市民が支え合って輝き支え合う社会を。誰もが長寿を喜んで安心して暮らせる社会、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けけることは本市にとって最重要課題です。介護、予防、医療、生活支援、住まいの5つのサービスを一体化して提供していくのか、以下の点についてききます。

健康福祉課長 介護保険制度の見直しについて、国において社会保障審議会介護保険部会の答申を受けて検討しています。市民アンケートを実施、市民の代表、介護保険事業所、有識者で組織する作業部会等、パブリックコメントを実施し取りまとめていきます。出産後間もない時期、子育てに對して強い不安や孤立感を抱えている現状があります。

※うつ対策、自殺対策についても質問しました。



協議のための自治基本条例制定を

総務課長 3年後の制定を考えている

村山 俊幸



新しくなった鳥羽市ホームページ

総務課長 本年4月より市のホームページを刷新し、パブリックコメントの実施についても、市統一の実施要綱を制定施行する予定です。

これからの総合計画の実施、あるいは行政改革推進プログラムの施行において、市民との協働が重要なキーワードとなりますが、次の点について考えられています。

新たに設けられた地域担当員制度の協働としての役割は。

行政改革室長 地域と行政のつなぎ役をして、職員が地域課題の解決に向け、各自治会等と協議しながら地域活動の活性化と行政運営の円滑化を図ることを目的としています。

鳥羽市自治基本条例の制定スケジュールは。

総務課長 平成21年11月から庁内ワーキンググループを立ち上げ、平成23年度に庁内検討委員会、平成24年度に市民検討研究会を立ち上げ、平成25年度には市民検討委員会に諮問し、3年後の制定スケジュールを考えています。

追跡!

あの意見どうなったん？

「議会報告会&意見交換会」における「市民意見」へ回答します。紙面の都合上、一部抜粋となりますので、全てをご覧になりたい方は市議会ホームページの議会基本条例ページをご覧ください。



議会報告会 A チーム



議会報告会 B チーム



議会報告会 C チーム

伊勢湾フェリー、いつまで鳥羽市が助けるのか。もっと乗船してもらうよう努力を。

⇒ 【企画財政課】現在、愛知県、三重県両地域の行政、民間、航路事業者等により組織する鳥羽伊良湖航路活性化協議会において、たくさんの方が乗船していただける施策について検討しており、概ね平成23年度から3年間の支援としております。

若者が都会へ行くことを防げるよう、就業の場を確保してほしい。

⇒ 【農水商工課】市の関係機関と連携を図り、企業訪問等を行い、インターンシップ登録事業所の拡大を図ることで、若者(学生等)に市内企業の紹介をするとともに、企業と人材のマッチングを支援し若者の市外への流出を防ぎます。また、企業に対する意見や意向に関する調査や今後はセミナー等を開催し、若年者の起業を支援します。

福祉介護施設の誘致をしていかないと、観光だけでは無理。（産業振興にもっと力を！）

- ⇒ 【健康福祉課】鳥羽市の介護サービスの需要を考慮し、今年度、市内に介護施設の建設を公募したところ、市外、県外から介護サービス事業所の参入がありました。このことは、従業員の地元雇用や固定資産税収入など経済効果が期待できます。

獣害対策はどうなっているのか。（獣害対策を！）

- ⇒ 【農水商工課】鳥獣被害防止計画を策定し、獣害対策協議会とともに県の助成を受けて、被害防止に努めています。また、防除用資材の購入の補助や猟友会と連携して個体数調整も進めています。

鳥羽の玄関口、パールビルを何とかしてほしい。

- ⇒ 【建設課・企画財政課】パールビルについては、鳥羽マリンタウン21（佐田浜エリア）検討会等により、論議されてきましたが、建物、敷地ともに多数の方が所有している民間地であり、所有者すべてが同意しなければ市として介入できない状況のため、跡地計画策定まで至っておりません。

中学生のかもめバス利用について～バスが小さく乗れない。乗れても窮屈で安全面で心配。バスのルートが大回り で、船に乗れないことがある。

- ⇒ 【定期船課】バスの小型化に対してはご不便をおかけしていますが、現状の所有車両では対応不可能です。定員数を守り運行しておりますので、ご理解の程、よろしくお願いします。目的地への速達性の向上のため、バスの運行ルートに関しては平成23年度より大きく見直し、可能な限り定期船と接続できるよう、見直しを致します。

マリンターミナルの浅瀬から駅が遠くなるが、雨降り、高齢者・子ども連れなどに対応してくれるのか。今まで以上に不便になる。架橋建設を進めてほしい。定期船運賃値上げがないように。

- ⇒ 【定期船課】「鳥羽マリンターミナル」を新規に設置し、可能な限りバスを停車させます。値上げの時期、値上げ額に関しては国や県と協議のうえ決定していくことになります。
- ⇒ 【建設課】エレベーターやシェルターなどを設置してバリアフリー化を行い安全・快適にアクセスできる整備を行っています。
- ⇒ 【企画財政課】架橋の建設促進については、全国離島振興鳥羽協議会において離島架橋建設推進活動を実施しており、市としても国・県へ要望しておりますが、本事業にかかる情勢は厳しく、長期的な課題とされております。引き続き要望していきます。

水道料金が高いが、安くならないか。

- ⇒ 【水道課】本市は、岩倉水源において、地下水をくみ上げ水道水にしておりましたが、昭和40年代初期からの観光ブームによる旅館・民宿等の宿泊客の増加による水不足や、離島・遠隔地や高台の地域での水不足に悩んでいました。このため、新たな水源開発が必要となったが、市内では不可能なため、昭和50年代に新たな水源として、遠く離れた蓮ダムを水源とした、県企業庁が供給する水道水を購入することにより、水不足を解消し、そのため多くの拡張事業を行いました。このことから、県からの水の購入費用と、拡張事業に伴う工事費等の借入金の償還費用等を水道料金に課すこととなり、現在の料金となっています。料金の値下げ等については、水道使用量の減少により料金収入が減少している中で安定的に供給することも視野にいれ、経費節減等の経営努力に努め検討を行う必要があると考えます。

橋を架けてほしい。

- ⇒ 【企画財政課】現在、全国離島振興鳥羽協議会において離島架橋建設推進活動を実施しており、市としても国・県へ要望しておりますが、本事業にかかる情勢は厳しく、長期的な課題とされております。引き続き要望していきます。

岐阜県高山市の「自治基本条例」を視察に行った。ぜひ、鳥羽市でも取り組んでほしい。

- ⇒ 【総務課・企画財政課】自治基本条例の制定については、県内でも数市が制定しておりますが、制定には市民の皆様との十分な共通認識などが必要と考えておりますので頂戴した意見を参考に今後も引き続き庁内ワーキングにおいて検討してまいります。

伊勢自動車道、伊勢・二見・鳥羽ラインは無料にならないのか。

- ⇒ 【企画財政課】伊勢自動車道については、現在国の施策において、割引・無料区間等の社会実験中です。伊勢・二見・鳥羽ラインについては、観光関係者等から要望活動をしていただいているところですが、建設時の残存債務等から、現状では難しいものと考えますが、観光業者と協働での要望活動を検討していきます。

都市計画区域の件で、再説明をお願いしたい。

- ⇒ 【建設課】鳥羽都市計画区域は、昭和9年に旧鳥羽町と旧加茂村の全域面積約6,061haが計画決定されました。その後、鳥羽市が誕生し、昭和44年に行政区域の約20%程度(2,142ha)が都市計画区域になりました。都市計画区域は、都市計画法第5条によると「一体の都市として総合的に整備、開発及び保全すべき区域」とされており、鳥羽市においても良好な自然環境を保全しつつ、開発行為の適正な規制・誘導を行いながら、公園、道路等の都市施設の整備等を行って行きますのでご理解をお願いします。

防災無線の音声が反響し合って何を言っているのか分からない。

- ⇒ 【総務課】防災行政無線拡声器の方向の調整等を検討させていただきます。

編集後記

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも

黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

す。救急医療の優先度を決めるトリアージも黒か緑。黄も赤もなし。津波は生死の境をさま

よう時すら与えませんでした。震災は天災、しかし、原発は人災。

再生をいっそう困難にするのは放射能汚染。

待ちわびた春がすぐそこまで来ていた雪国、東北地方。被災のその過酷さに胸がつぶれま

クイズ当選者

正解は次のとおりです。

問1 議会基本条例

問2 6校

問3 リバーサイド幸丘

正解者中から抽選で次の10名の方が当選されました。

中島照代様	上島千穂子様
野村洋子様	野村竜洋様
寺下進様	岩本和也様
右近省二様	野村竜司様
野村順子様	岩本桂子様

当選者の皆様には後日図書カードを送付させていただきます。

この度の、東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。

市議会では、被災地支援のため義援金32万円を贈りました。